

◆よく見て操作しよう

1 対象児童生徒（対象学級）の実態 <ul style="list-style-type: none">・小学部 視覚障害・知的障害・簡単な形や色の弁別はできる。・視覚障害があり、視野が狭い。										
2 指導目標 <ul style="list-style-type: none">・対象物をよく見ながら手指操作をすることができる。										
3 取組の中心となる教科・領域等 自立活動（環境の把握）										
4 使用したアプリ、周辺機器 <ul style="list-style-type: none">・「ぷちぷち気分」：イラストの気泡緩衝材をぷちぷちとつぶしていくアプリ。・ボウリングアプリ：玉がはっきりした配色で見やすく、また、転がる音やピンが倒れる音がリアルで、興味を引きやすい。										
5 指導の経過及び児童生徒の変容 <ul style="list-style-type: none">・指導期間 6月28日～1月17日・視覚障害のために下方が見えにくいいため、iPadを自作の書見台において活動をした。机上でのpegさしなどの活動には粘り強く取り組むが、iPad指導前は、手探りで穴に入れる様子が目立っていた。このため、注目してアプリを操作することが必要で、上記のアプリを使用して指導を行った。 <p>○ 指導開始時と終了時のボウリングスコアの変化</p> <ul style="list-style-type: none">・指導開始時（6月28日） スコア 32・指導終了時（1月17日） スコア 56 <div data-bbox="810 996 1439 1310"><p style="text-align: center;">ボウリングスコアの変化</p><table border="1"><thead><tr><th>指導段階</th><th>スコア</th></tr></thead><tbody><tr><td>指導開始時</td><td>32</td></tr><tr><td>指導途中①</td><td>50</td></tr><tr><td>指導途中②</td><td>45</td></tr><tr><td>指導終了時</td><td>56</td></tr></tbody></table></div> <p>また、ボウリングアプリ以外の場面においても、右の写真のように、追視しながらpegさしや、玉入れ、ひもとおしなどをする様子が見られるようになった。</p> 	指導段階	スコア	指導開始時	32	指導途中①	50	指導途中②	45	指導終了時	56
指導段階	スコア									
指導開始時	32									
指導途中①	50									
指導途中②	45									
指導終了時	56									
6 指導のポイント（変容の要因、効果的な支援方法等） <ul style="list-style-type: none">・ボウリングという達成感のあるアプリを用いることで、興味を持って学習に取り組むことができたと考えられる。・視野の狭さに配慮したタブレットの提示の仕方を工夫することで、無理なく学習に取り組めた。・iPad学習の後にプリント学習をすることで、実際の生活場面でも学習に生かすことができた。										